

經濟「商い」と同じ要領で表わす。

警察 「警官」の手まねの「男性」を表わすのを省いて——建物。

計算 「会計」と同じ手まね。

刑事 掌を内側にした左手の人差指と中指の指頭を右にさし、それに掌を前に向けた右手の人差指と中指の指頭を上にしたのを組み合わせ、「刑」の文字の扁をつくる。

揭示 五指の指頭を上にしたし掌を前向けにした左手の掌の下部に、指頭を上にした右手の人差指の指頭をつけて、少し上へさし上げる。左手掌は揭示板、右手の親指は揭示板につけた柄(脚)と見るがよい。プラカードなら更に頭の上辺りさし上げる。「看板」「広告」「宣伝」「名高い」の意味にもなる。

芸者 両手で三味線を鳴らす身振をして、「女性」を示すがよい。

輕蔑 左手で表わした「男性」(或は「女性」)の指頭の上を右手の掌で下へ押し下げる。「敬う」の反対の身振。

下女 「給仕」と同じ手まねで「女性」
客んぼ 「金錢」を表わしたその輪を口にくわて軽く噛む真似。

結果(結局) 「終り」と同じ手まねで表わす

結婚 「夫婦」を見よ。

下駄 「足駄」の手まねの要領で掌を下向けにした左手を下駄の台として、右手の拳を縦にしたのを下駄の函として、左掌の下に前そして後につける。

決議 会議——決める。

月給 月——給金。

傑作 優れる——絵(或は小説、彫刻など)

決算 終り——計算。

月謝 習う——月——お礼——お金。

月収 月——お金。お金を表わしたままの手を、胸もとに引き寄せる。

欠席 「居る」と同じ手まね。即ち、家に居て、出ないこと。

決して 「必ず」と同じ。

決心 心——決める。

月賦 「月」を表わし、五指の指頭を右にさして掌を上に向けた左手の上に、五指の指頭を前方にさし掌を左側に向けた右手を宛ら組の上で物をほうちようで小さきさみにする動作をしてから、右手で「金銭」を表わして前にさし出す。小さきさみに分けて支払うこと。

月曜日 「月」の項ゆと同じ手まね。

下男 「給仕」と同じ手まねをして「男性」

下品 左手の掌の上に「男性」を表わした右手をのせ、そのまま低く下へ下げる下等な人物の意味。

獸けもの 掌を下向けて五指を鋭く屈めた両手を胸の前で、前後梢々斜めにならべる、獸の前肢の鋭い爪の表現。

家来 「男性」を表わした右手に、それより少し低い目に後にこれも「男性」を表わした左手を添える。その時左手の「男性」(親指)を少し屈める。「供の音」「部下」ともなる。

けれども 五指の指頭を前方にさし掌を下に向けた手を、くると掌を上向けに反転させる。



原因 「意味」と同じ手まね。

喧嘩 五指の指頭を集め合わせた両手を左右に互いの指頭で突つき、ねじり合わせる。